

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年5月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	272701038		
法人名	社会福祉法人恵心会		
事業所名	グループホームしろやま		
所在地 (電話番号)	〒039-0112 青森県三戸郡三戸町梅内字桐萩162-8 (電話) 0179-20-0260		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 3月 5日	評価確定日	平成 20年 5月 7日

【情報提供票より】(平成 20年 2月 15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤	人, 常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	4,500 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要( 2月 15日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 84.68 歳	最低	78 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 三戸中央病院、石亀歯科
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

美しい山並みが目の前に広がり、静かな農村地帯であるが、役場等中心街も近く、近隣との行き来がよくできる場所である。近所には民家が多くすぐ声をかけあえる場所にある。リビングには大きなテーブルがありそれぞれが座る場所がおのずと決められ、なじみの人たちが集い、静かな生活が展開されている。利用者とともに掃除が行われ、洗面台や炊事場等がよく磨かれ、清潔感がうかがえた。同一法人の責任者が毎日様子を見るなどしており、連携の密接さがある。職員間で理念の共有が図られ、チームワークのよさが感じられた。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	介護サービス計画についてきめの細かい点での取り組みに着手しているところがうかがわれた。記録物については、重複していたりする部分があるため、今後は整理し効率よく整備してほしい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については管理者が作成している。鍵をかけないような配慮に取り組むなかで、利用者に寄り添うケアの実践に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議が定期的に行われており、地域のなかに出て行こうという姿勢が十分に伺われた。利用者の外出等はよくなされているが、近隣住人との交流がまだ十分にできていない。運営推進会議を活用しピーアールをおこない、年度で計画を立て、行事への参加等少しずつ実行することにより近隣住人との交流がもてるのではないかと。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	家族からの要望や苦情もそれぞれ受け止めており対応している。職員の創意工夫を大事にしておりケアに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的な外出はよくできており、他の施設等に出かけていったり交流や連携もできている。今後は地元住民に対して働きかけ、日常的になじみの関係を作ることによって、地域に溶け込んだ施設作りに取り組んでほしい。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「私たちは、お客様の笑顔とその人らしさを大切にします。」という事業所独自の理念を掲げ、地域の信頼と共生にむけて取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週に一度のカンファレンス等を利用し、職員に徹底するように管理者から説明されていた。職員もよく理解していた。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域活動や地元の方々との交流に対し意識は高いが、実践に結びつかない部分がある。		まずは、ホームとして一番とり組みやすい行事等に対して隣近所の方々に声をかけていくなど身近な事柄から取り組んでほしい。年間計画の中にあらかじめ予定してみてもどうか。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>運営者、管理者はもとより、職員も評価事項を理解しており、改善に取り組んでいた。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、定期的によく開催され議事録も整理されており、サービス向上に関しての話し合いもされていた。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>今の所、問題があれば、市町村との連携を行っている。</p>		<p>今後は、問題が無くても定期的に連携の機会を持つことを期待したい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は権利擁護に関する研修は受けている。</p>		<p>必要時に全職員が対応できるよう勉強会を開催するなど、権利擁護の制度の理解活用を浸透させる取り組みに期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者は虐待に関する研修は受けている。</p>		<p>管理者だけでなく、勉強会の開催、対応法やマニュアルの整備など事業所全体にも浸透させる取り組みに期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に関してはしっかりと整備されており、利用者や家族には十分に説明が行われている。		
10	12	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会を利用したり、遠方で事情がある方などは、電話や通信文等を利用しながら定期的に報告がなされている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時などご家族の話を丁寧に聞いている。法人の管理者も定期的に来訪しており、その都度直接相談出来る体制にあり連携がとれている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	長年なじみの職員が多く気心が知れている。本部でも異動を最小限に抑えるように努力しており、入れ替わりが少なく、異動による利用者への不安感を防ぐようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修には参加している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内外の施設を利用者とともに訪れたりしている。同じ法人内のグループホーム等と情報交換を行いサービス向上に努めている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者及び家族と事前に面談し、見学に来てもらうなどして不安の解消に努めている。また職員が利用者や家族の話聞きながら、部屋の中になじみの装飾を施したり暖簾などの工夫をしている。必要時は家族にも連絡し、なじみのものを持ってきてもらうなど提案している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者が人生の先輩であるという自覚を持っている。農業に携わってきた利用者が多く、野菜栽培などを通してその経験を聞きながらお互い協働して畑作りを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
17	30	<p>思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>その人らしさを大切にしたいという理念が浸透しており、常に利用者にとのようになりたいかを尋ねながら行っている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の意見をうかがい、ケアカンファレンスが定期的に行われ、サービス計画は作成されている。今後は計画の展開において全職員への周知が徹底されてくるとよいと思う。</p>		<p>本人家族の意向をより深く把握するために、職員のアセスメント能力を向上させることを期待したい。さらに、個々の機能訓練プランなどを課題にして研さんしてほしい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度、定期的に見直しが行われている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>地元の学生などのボランティアを受け入れたりしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医を継続しており、適切な医療が受けられるよう支援ができています。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化された場合は、家族、医療機関と連携を取り合っている。終末に関しては、施設での取り組みは現在行われていないが、他の機関につなげている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報については適切な対応をしている。また、職員の言葉遣いも利用者の自尊心に留意し適切に行われている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人のペースに合わせたゆっくりと落ちついた対応がされている。外出なども希望が取り入れられ行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の仕度や片付けは、利用者と職員が一緒に行っている。食器も独りずつ違ったものを使うなどの工夫も行われている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日の設定はあるが、随時対応している。浴室は清潔にされており気持ちよく入浴が行われている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>外出などの計画的なものやその都度その人にあわせたものがあり、工夫されていた。特に畑仕事や花壇などの整備の手伝いなどは活発に行われている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>日常的な外出はよく行われており、利用者の希望に応えるように努力をしている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内研修や外部研修等の受講もしており、その内容を職員も周知し、取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	帰宅願望のある方には一緒に付き添い、精神的な安定感を持ってもらうようきめ細かい対応を工夫し、鍵はかけないケアが行われている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	月に1回は利用者とともに避難訓練をしている。緊急時の職員の自宅との自動通報装置も設置されている。		近隣の方々とも災害時の協力体制を築けるような働きかけを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の栄養士とも連携をとり、相談できるような体制作りがなされている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する委員会が整備されており医師も交えて対応策がなされている。マニュアルも整備されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々にあわせ、カフェカーテンやシール等を張ったりして採光に気を配ったりしている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族から好みのものを聞いたり持ってきてもらったりしているが、部屋によっては医療用ベッドがそのまま置かれるなどしている所がある。</p>		<p>たとえばベッド柵にカバーをつけたり、壁を利用して雰囲気などをだすなど、もう少し温かさのある空間作りの工夫が望まれる。</p>

 は、重点項目。